

第5章 課題の整理

1 課題整理のために行ってきた市民協働活動

(1) 船来山に関わる現在の活動

船来山古墳群や本巢の歴史をテーマにした取り組み

赤糸古墳の館特別開館や企画展、歴史文化探訪セミナー、小学校の総合学習等、船来山古墳群や本巢の歴史を学ぶ活動について、表に整理する。

表5-1(1) 船来山古墳群や本巢の歴史を学ぶ活動状況

	取り組み内容	参加者人数	備考
平成十七年度	春特別開館	28名	
	秋特別開館	12名	
	浪漫ウォーク開催時の企画展・特別開館(2日間)	128名	
	小学校の総合学習(岐阜市西郷小、北方町北方小、ボランティア1名)	40名	
平成十八年度	春特別開館(5日間)	86名	企画展の立ち上げ開始
	秋特別開館・企画展「宝珠古墳の里帰り」(3日間)	182名	
	小学校等の総合学習(席田小60名、岐阜市西郷小13名、ボランティア1名、その他長野県高盛町等)	131名	
平成十九年度	春特別開館・企画展「本巢のまほろば-法林寺古墳群をはじめとして」(4日間)	133名	語りべボランティア・歴史文化探訪セミナー・親子歴史体験教室立ち上げ
	秋特別開館・企画展「宗慶大塚古墳をめぐる」(2日間)	149名	
	小学校の総合学習(外山小19名、土貴野小45名、本巢中30名、ボランティア5名、その他笠松町、養老町、長野県安曇野市)	167名	
	歴史文化探訪セミナー「宗慶大塚古墳をめぐる」講師:高木宏和氏	53名	
平成二十年度	春特別開館・企画展「謎の古代寺院～席田廃寺の謎を探る～」(4日間)	322名	
	歴史文化探訪セミナー「席田廃寺をめくって」講師:八賀晋氏	99名	
	秋特別開館・企画展「いにしへの道 東山道をたどる」(3日間)	204名	
	歴史文化探訪セミナー「東山道と本巢」講師:丸山幸太郎氏	66名	
	小学校の総合学習(外山小12名、一色小41名、本巢小69名、岐阜市木田小57名、岐阜市網代小40名、ボランティア12名、その他関市)	224名	
	本巢市学校教育センター、岐阜市小学校社会科部会研修	54名	
平成二十一年度	春特別開館・企画展「法林寺古墳群を訪ねて」(5日間)	214名	
	歴史文化探訪セミナー「法林寺古墳群」講師:横幕大祐氏	48名	
	秋特別開館・企画展「戦国時代の船来山と祐向山」(3日間)	239名	
	歴史文化探訪セミナー「戦国時代の船来山と祐向山」講師:横山住雄氏	49名	
	小学校の総合学習(一色小35名、岐阜市網代小40名、ボランティア7名、その他美濃市、稲沢歴史友の会)	88名	
平成二十二年度	春特別開館・企画展「本巢は米どころ-船来山にみる条里制」(5日間)	316名	小学校の夏休み歴史体験教室開始
	歴史文化探訪セミナー「条里制について～本巢郡条里を中心に」講師:竹谷勝也氏	48名	
	秋特別開館・企画展「甲冑をまとった船来山の武人たち」(3日間)	541名	
	歴史文化探訪セミナー「船来山古墳群出土の短甲について考える」講師:滝沢誠氏	66名	
	小学校の総合学習(一色小31名、本巢小60名、ボランティア4名、小学校の夏休み歴史体験教室:一色小「埴輪作り」15名・ボランティア6名、真桑小「勾玉作り」30名・ボランティア4名、その他社会福祉協議会、糸貫公民館講座)	180名	
	糸貫チャレンジ	13名	

表 5-1(2) 船来山古墳群や本巢の歴史を学ぶ活動状況

	取り組み内容	参加者人数	備考
平成二十三年度	春特別開館・企画展 「大宝戸籍と本巢～詳細遺跡分布調査の成果を含めて～」(6日間)	221名	
	歴史文化探訪セミナー「古代本巢の豪族と地域社会-栗栖太里はどこにあったのか-」 講師：鈴木正信氏	71名	
	秋特別開館・企画展 「いにしえの本巢～本巢市詳細遺跡分布調査の成果から～」	282名	
	小学校の総合学習(本巢小71名、ボランティア3名、小学校の夏休み歴史体験教室：席田小「土器作り」25名、糸貫中「埴輪ストラップづくり」10名、真正中「土器・勾玉作り」4名、サマフェス歴史体験教室、ボランティア13名)	71名	
	糸貫チャレンジ	15名	
平成二十四年度	春特別開館・企画展「本巢国造～その秘宝～」(8日間)	229名	
	歴史文化探訪セミナー「古墳の魅力-古墳はなぜつくられたのか-」 講師：中井正幸氏	50名	
	夏休み歴史研究作品相談会(2回)	31名	
	夏休み歴史体験教室(土貴野小「勾玉づくり」54名、席田小「雁木玉づくり」29名、サマフェス歴史体験教室50名、ボランティア20名)	153名	
	糸貫チャレンジ	15名	
	本巢市学校教育センター初任者研修	7名	
	社会科教員研修	15名	
	秋特別開館・企画展「船来山弥勒寺の文化財」(3日間) 歴史文化探訪セミナー「船来山弥勒寺と弥勒寺官衙遺跡群」 講師：田中弘志氏	238名 58名	
平成二十五年年度	春特別開館・企画展「赤彩古墳に葬られた人々」(7日間)	306名	ふるさと学習ロマンプロジェクト開始
	歴史文化探訪セミナー「骨が語る～古墳に葬られた人々～」 講師：橋本裕子氏	67名	
	夏休み歴史研究作品相談会	19名	
	夏休み歴史体験教室 (席田小「土器づくり」13名、サマフェス歴史体験教室50名)	63名	
	糸貫チャレンジ	15名	
	本巢市学校教育センター初任者研修	7名	
	社会科教員研修	20名	
	秋特別開館・企画展「船来山古墳群の時代」 講師：長瀬治義氏 ふるさと学習ロマンプロジェクト	51名 171名	
平成二十六年年度	春特別開館・企画展「前方後円墳の世界」(4日間)	224名	
	歴史文化探訪セミナー「前方後円墳の世界」 講師 島田崇正氏	51名	
	小学校の総合学習(外山小13名、一色小82名、真桑小117名、土貴野小29名、席田小120名)	361名	
	大阪府枚方市古文化愛好会	43名	
	本巢市学校教育センター初任者研修・社会科教員研修	9名	
	NPOにわ里ネット(犬山市青塚古墳管理NPO)	5名	
	秋特別開館・企画展(3日間)	465名	
	歴史文化探訪セミナー「黄泉の国への招待～船来山古墳群の時代に」 講師：成瀬正勝氏 ふるさと学習ロマンプロジェクト	54名 のべ230名	

表 5-1(3) 船来山古墳群や本巢の歴史を学ぶ活動状況

	取り組み内容	参加者人数	備考
平成二十七年 度	春特別開館・企画展「花開く席田郡～席田郡家推定地発掘調査速報展」 (4日間)	748名	
	歴史文化探訪セミナー「席田郡建郡と古代の豪族」 講師：北村安裕氏	61名	
	小学校の総合学習(席田小59名、外山小13名、弾正小57名)	129名	
	高砂ふれあいサロン	30名	
	法林寺自治会出前講座	37名	
	岐阜市又丸ふるさと歴史文化講座	20名	
	市内小中学校初任者研修	25名	
	秋特別開館・企画展(3日間)	397名	
	席田郡建郡1300年記念市民報告会	261名	
	船来山24号墳出土品帰還展	1034名	
	歴史文化探訪セミナー「鏡から見た船来山古墳群」 講師：林正憲氏	119名	
	ふるさと学習ロマンプロジェクト	のべ767名	

ふるさと学習ロマンプロジェクト

歴史ロマンを感じてもらうために、立ち上げられた講座で平成26年度から行われている。小中学生（とその保護者）が対象で、会員登録をして参加する仕組みとなっている。

船来山古墳群をはじめ、遺跡など歴史資源を対象に、見学や様々な体験を通して、学び考える活動が行われている。

表5-2 平成27年度の講座内容

日にち	時間	内容	会場・集合場所
4月26日(日)	9:30~12:00	開講式・船来山草刈ボランティア 刈り取った雑草で次回草木染を行います	船木山弥勒寺
5月2日(土)	9:30~12:00	船来山古墳群企画展見学・歴史体験教室 草刈ボランティアの成果！草木染体験	富有柿の里 古墳と柿の館
5月9日(土)	13:30~16:00	春の歴史文化探訪セミナー 「席田郡建郡1300年(仮題)」 講師 北村安裕氏(岐阜聖徳学園大学)	富有柿の里 柿センター
6月28日(日)	13:30~16:00	第1回船来山ワークショップ 船来山古墳群の未来を語ろう～ 岐阜農林高校生古墳測量調査成果発表 等	富有柿の里 柿センター
7月18日(土)	9:30~16:00	約1300年前のムラの展示を見学しよう 遺跡の森の中の博物館を見学しよう	富加町郷土資料館 美濃加茂文化の森市民ミュージアム
8月8日(土) 雨の場合は9日(日)	9:30~12:00	船来山古墳群測量体験(前方後円墳測量)・夏 休み歴史研究作品相談会	富有柿の里 柿センター
9月26日(土) 雨の場合は27日	13:30~16:00	第2回船来山ワークショップ 船来山古墳群の未来を語ろう	富有柿の里 柿センター
10月24日(土)	9:00~14:00	文殊の森清掃活動 山口城から船来山を眺めよう！ 活動後は収穫祭(バーベキュー)！	文殊の森、山口城
11月7日(土) 雨の場合は8日(日)	9:00~12:00	第3回船来山ワークショップ 船来山草刈ボランティア、古墳さがし 船来山古墳群の未来を語ろう 岐阜農林高植生調査発表	富有柿の里 柿センター
11月22日(日)	9:30~12:00	船来山古墳群秋の企画展見学・歴史体験教室	富有柿の里 古墳と柿の館
12月12日(土) 12月13日(日)	12/12 13:30~16:00 12/13 13:30~16:00	席田郡建郡1300年記念古代と未来のかけ橋 船来山古墳群報告会 上保旗本大島家創作朗読劇「柿の殿様」の上演	すこやかセンター
1月16日(土)	13:30~15:00	船来山24号墳出土品帰還記念 鏡づくり、鏡チョコレートづくり	富有柿の里 古墳と柿の館
1月23日(土)	13:30~16:00	船来山24号墳出土品帰還記念 歴史文化探訪セミナー 「鏡から見た船来山古墳群」 講師：林正憲氏	富有柿の里 柿センター
3月6日(日)	13:30~16:00	船来山ワークショップ成果報告会・閉講式	

語りベボランティア

語りベボランティアは、平成 19 年（2007 年）に設立された無償ボランティア団体である。

船来山古墳群を拠点にしているが、根尾谷断層、山口城跡等、市内のほかの遺跡にも活動を広げ、歴史をつなげるように活動を展開している。

【船来山古墳群における語りベボランティアの活動】

語りベ活動

毎年 2 回、春のゴールデンウィークと秋の祭日に行われる古墳と柿の館での特別開館事業では、展示内容の案内・語りベ活動、「鏡づくり」等の親子歴史体験教室のサポートをしている。

平成 25 年（2013 年）より、ボランティア手作りの創作紙芝居で語りベ活動を始め、ボランティア手書きの絵で手作り感があり好評を得ている。

船来山古墳群保全活動（環境整備ボランティア）

平成 23 年（2011 年）より、船来山古墳群の保全のために、雑草や雑木を除去する清掃活動を実施している。

清掃活動は、船来山古墳群検討委員会委員の先生方や市文化財保護審議会委員の先生方（樹木医）に現地を視察していただき、今後の保全の方法等指導を受けながら実施している。

清掃活動では、参加者に古墳にまつわる言い伝えなどを語っている。

また活動の中で、雑草の下から新たに 291 号墳が発見されている。

ふるさと学習サポート活動

平成 25 年（2013 年）に、近隣の県立岐阜農林高等学校と船来山古墳群古墳測量体験学習を実施している。高校生の指導の下、受講生の小中学生、保護者をボランティアがサポートし体験学習が行われた。

船来山古墳の会

古墳の研究・紹介活動の実施、会員相互の古墳に関する知識の向上と、船来山古墳群を取り巻く歴史的意義とその保存に向けた活動を目的とした会で、2009 年 12 月に設立された。

船来山古墳群の現地研修会のほか、他地域の古墳見学会や土器や古墳の副葬品をつくる体験等の活動が行われている。

船来山古墳群のキャッチコピーおよびマスコットキャラクター

キャッチコピー（2013 年度募集・決定）

2013 年 11～12 月に船来山古墳群の素晴らしさを一言で表したキャッチコピーを募集し、2014 年に 2 回の選考によって、以下のものに決定された。船来山古墳群の特別開館やふるさと学習の広報、宣伝などの際に活用されている。

「古代と未来のかけ橋 船来山古墳群」

マスコットキャラクター（2014 年度募集・決定）

船来山古墳群のマスコットキャラクターの募集により、46 作品の応募があり、2015 年の 2 回の

選考によって、図 5-1 の作品に決定された。船来山古墳群特別開館やいろいろなイベントで活用されている。

マスコットキャラクターニックネーム（2015 年度募集）
2015 年度には、マスコットキャラクターのニックネームが募集され、集まったニックネームから選挙によって選ばれる予定である。

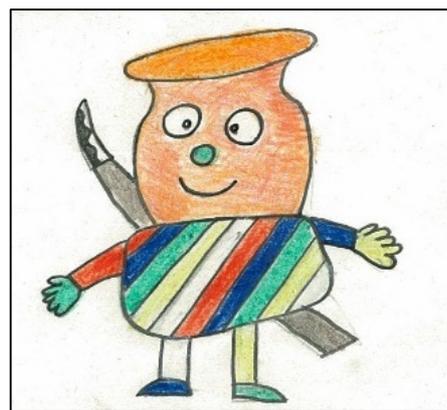


図 5-1 マスコットキャラクター

（2）市民協働の取り組み（ワークショップ）

船来山古墳群の史跡指定や地域による保存活動を展開していくためには、地域住民をはじめ、市民の船来山古墳群への関心を高め、地域の宝として史跡を大事にしていこうという史跡保存に繋がる認識を高めることが重要である。

そこで、船来山や船来山古墳群のことを知りたい、語りたいたいという市民に参加していただき、船来山や船来山古墳群の未来について語り合い、今後、よりたくさんの人に関心をもち、来てもらうための方法などについて考えるワークショップを行った。

ワークショップは、全 3 回にわたり実施し、最後に成果報告会を行った。参加者は、ふるさと学習ロマンプロジェクト受講生や糸貫公民館郷土の歴史文化教室受講生、岐阜農林高等学校生徒、岐阜女子大学文化創造学部学生、語りべボランティア、文化財保護審議会等、各回 30～50 名の方々がみられた。

以下に、各回の実施概要と、船来山や船来山古墳群に対する主なご意見等を整理する。
なお、ワークショップの結果を広報した「ワークショップ通信」は資料編にまとめた。

表 5-3 ワークショップの実施概要

回数	日時	開催場所	実施概要	参加人数
第 1 回	平成 27 年 6 月 28 日（日） 13：30～16：00	富有柿の 里柿セン ター	1. 国指定を目指す船来山古墳群についての説明、紀伊風土記の丘見学報告 2. 岐阜農林高古墳測量調査成果発表（教育長へ模型贈呈式） [ワークショップ] 3. 船来山古墳群について語ろう！	52 名
第 2 回	平成 27 年 9 月 26 日（土） 13：30～16：00		1. 前回ワークショップの振り返り 2. 岐阜女子大学船来山民俗調査結果発表 [ワークショップ] 3. 船来山古墳群の未来を語ろう！	35 名
第 3 回	平成 27 年 11 月 7 日（土） 9：00～12：00		1. 前回ワークショップの振り返り 2. 岐阜農林高古墳測量調査成果発表 3. 船来山草刈体験作業・古墳探し 赤彩古墳見学	30 名
成果 報告会	平成 28 年 3 月 6 日（日） 13：30～15：00		1. 船来山ワークショップ成果報告会 2. 閉講式	30 名

第1回ワークショップ

第1回ワークショップでは、国指定史跡を目指す船来山古墳群について、出土品やその価値、古墳築造当時この地域が政治的にどのような位置づけにあったかなどの説明を聞いた後、昨年視察した和歌山県紀伊風土記の丘について写真を見ながら振り返りを行った。

また岐阜農林高等学校が中心になって実施している古墳測量調査や里山の植物調査について、生徒がその方法や成果を説明した。

その後の話し合いでは、参加者全員が3班に分かれて、船来山古墳群について自由に意見交換を行った。話し合いで出された主な意見について分類整理したものを図に示す。

船来山古墳群についてわかったこと

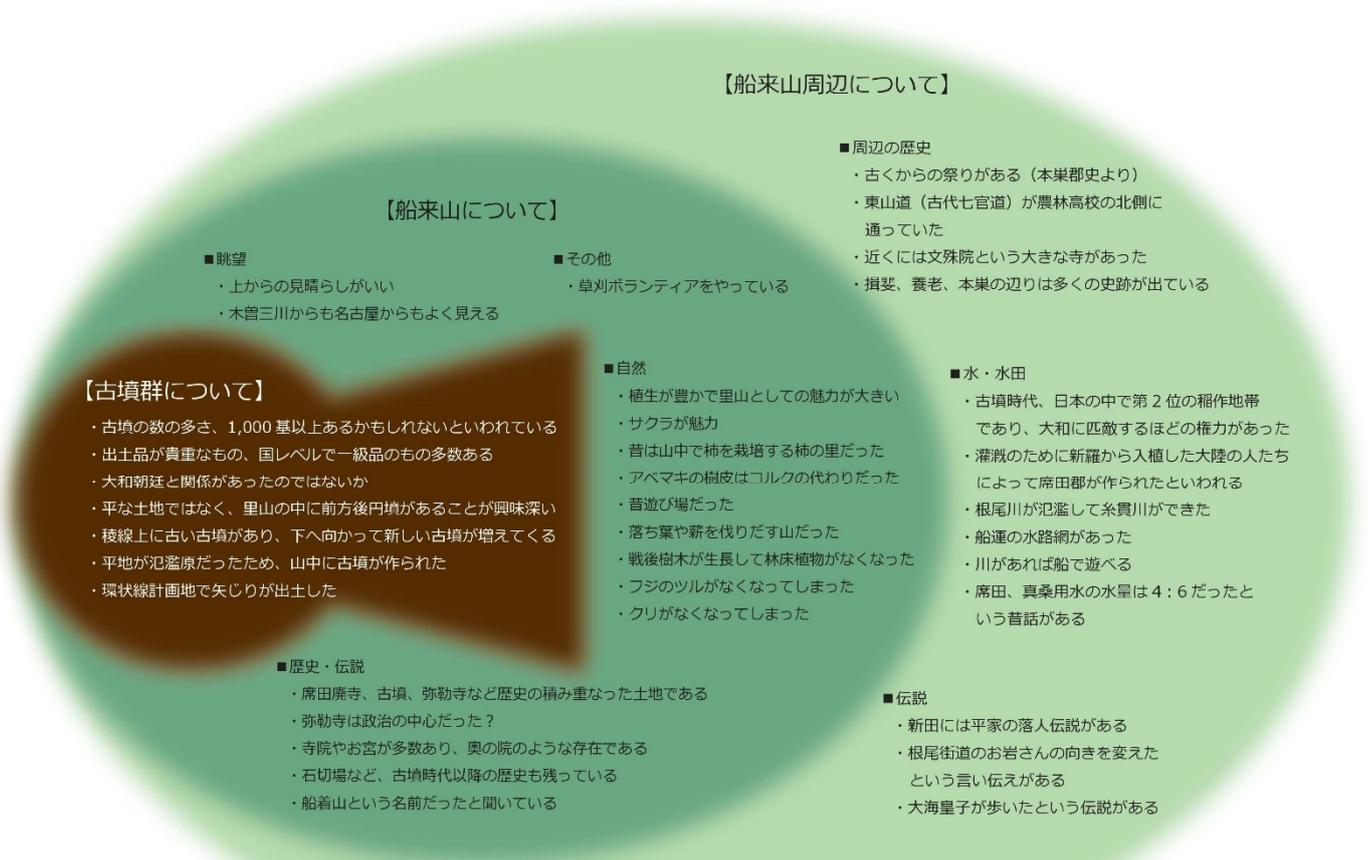


図5-2 第1回ワークショップにおける主な意見(1)

感想等

- WSに参加した感想
 - ・古墳の価値に驚いた！
 - ・古墳の大きさに驚いた！
 - ・船来山の古墳群は新しいと思っていたが古くて興味を持った
- その他
 - ・三内丸山遺跡（青森県が運営）の見学はとても有意義
 - ・今日は3C～4Cの古代史を知るために参加した
 - ・北陸道では縄文時代の遺跡が出た
 - ・船来山はかつてゴルフ場になりかけた（危機）

岐阜農林高校の皆さんへ

- ・高校生の参加、とても意義あること
- ・測量を続けてほしい
- ・測量、図面、模型、どれも素晴らしい
- ・他の学科がやっている古墳のことを知ることができてよかった
- ・植生調べてくれてうれしい
- ・植生を調べるとき、葉草に注目してできないか
- ・舟来山にはどれくらいの種類の植物があるのか⇒50種類以上
- ・後輩が立派に発表してくれてうれしい
- ・将来一緒に活動したい

船来山古墳群の未来について

【古墳群について】

- 古墳について
 - ・国や県の指定になって保存してほしい
 - ・古墳の現状を生かしながら保存してほしい
 - ・5年後10年後に古墳があってよかったと思えるイメージしてほしい
 - ・国の成立過程との位置づけを見直したい
- 船来山古墳群でやってみたいこと！
 - ・発掘調査をやってみよう
 - ・模型を作ってみよう
 - ・自分のできることで協力したい

【船来山について】

- 船来山について
 - ・船来山を多面的に活用することは大切である
 - ・自然のまま残してほしい
- 船来山でやってみたいこと！
 - ・船来山のツブラジイの実をみんなに食べてほしい
 - ・ツブラジイの実から油を採って残りをクッキーにしてみよう
 - ・船来山を歩いてお茶したい（おしゃれなカフェで）
 - ・散歩がてら、動物や植物などを知りたい
 - ・舟来山を登って健康増進したい

【船来山周辺について】

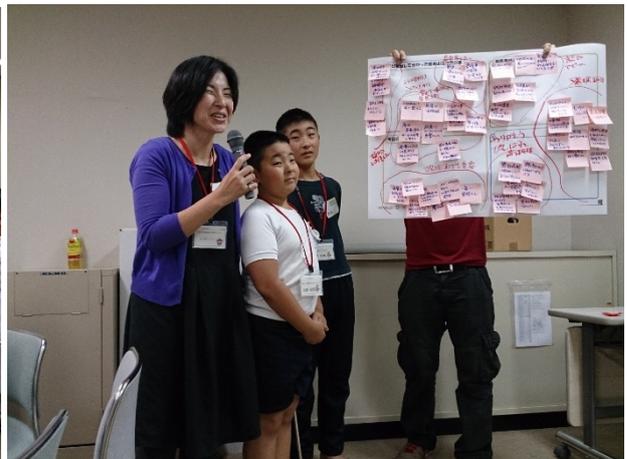
- 船来山を含めた地域について
 - ・地域の発展につながってほしい
 - ・大きな構想で、経済効果・歴史保全・植生保全を期待する
 - ・近くで人気のある文殊の森など、点在している観光資源とつないでいきたい
 - ・多くの人に来てもらいたい
 - ・あまり人を呼ばずに大切にしていきたい
- 船来山を含めた地域でやってみたいこと！
 - ・街づくりに興味がある
 - ・地域の歴史についているんな人と話したい
 - ・地域についてもっと知りたい

課題・PR方法

- 船来山古墳群のPRについて
 - ・市民にもっと興味を持ってほしい
 - ・子どもたちに古墳のことを知ってもらいたい
 - ・地元だけでなく広く地域に知ってもらうことが大切
 - ・PRの方法を考えていく必要がある
 - ・多くの適度と自然をアピールすることが大切
- 船来山古墳群の課題
 - ・環状線のトンネル問題
 - ・国指定に向けての調査
 - ・古墳、出土品の価値が高いのにあまり知られてないこと



図 5-3 第1回ワークショップにおける主な意見(2)



第1回ワークショップの様子

第2回ワークショップ

第2回ワークショップでは、第1回で出された意見をもとに、「古墳を生かした楽しみ方」「船来山を生かした楽しみ方」「船来山周辺の観光資源等と連携した楽しみ方」「船来山のPR方法」の4つのテーマを設定し、参加者を4班に分けてアイデアや意見を出し合った。テーマごとに設けたテーブルを15分ごとに班で移動しながら、全員が4つのテーマについて話し合えるようにした。

話し合いで出された主な意見について分類整理したものを、図に示す。

このほか、岐阜女子大学の学生が地元の方に聞き取り調査を実施した「山谷地区 船来山の山神様」と「春稲神社について」の発表が行われた。

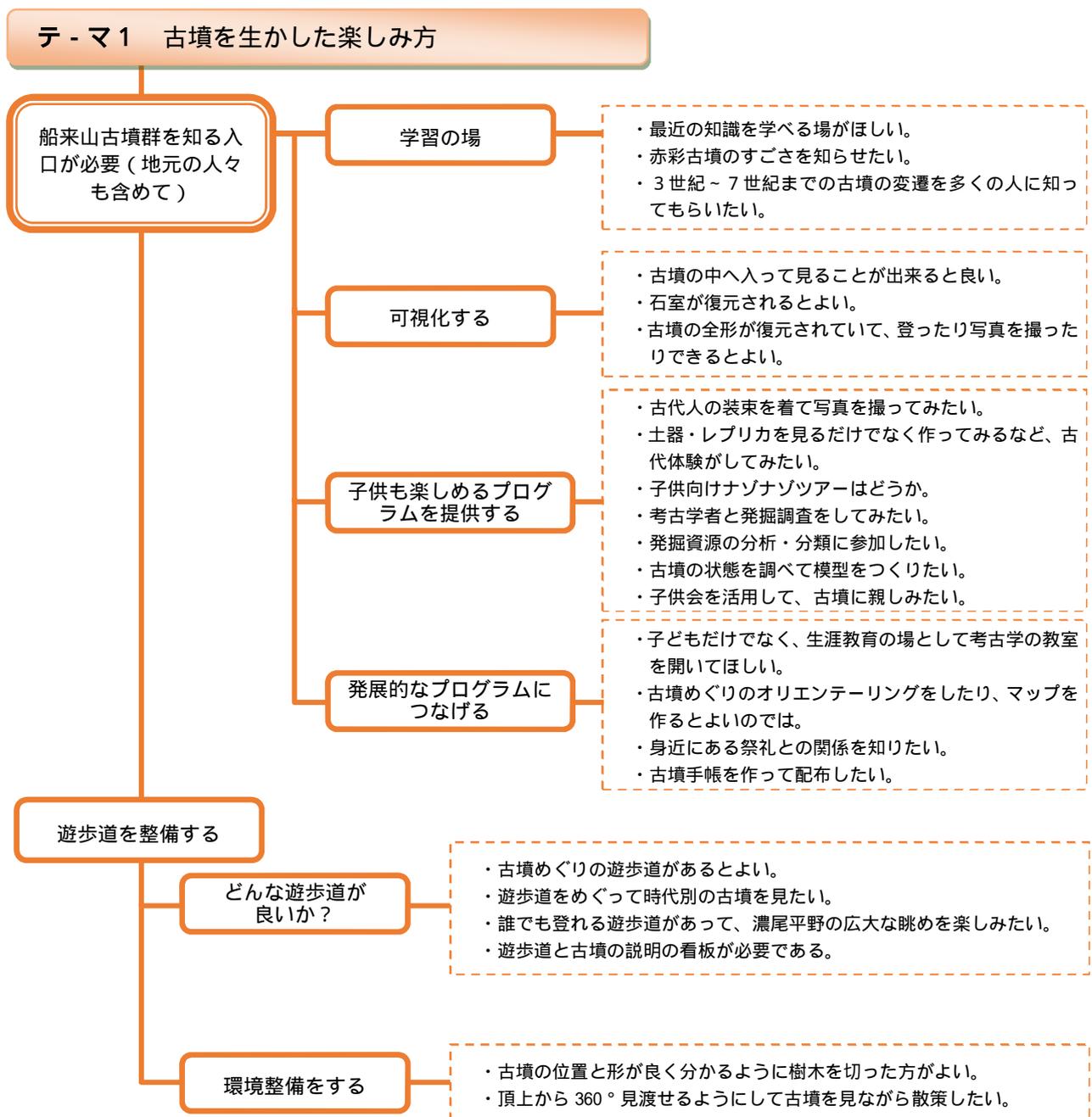


図5-4 第2回ワークショップにおける主な意見(1)

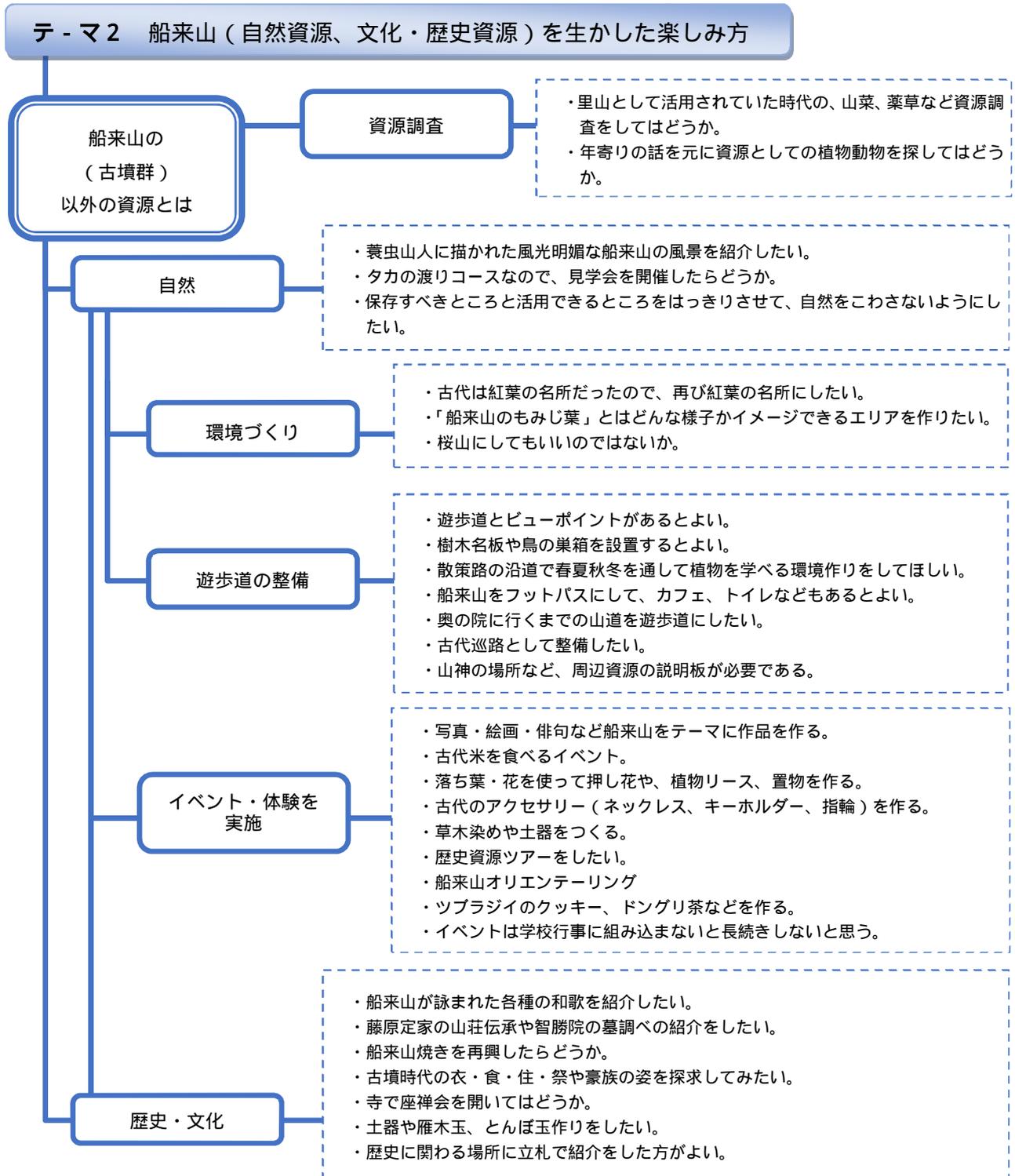


図 5-5 第 2 回ワークショップにおける主な意見(2)

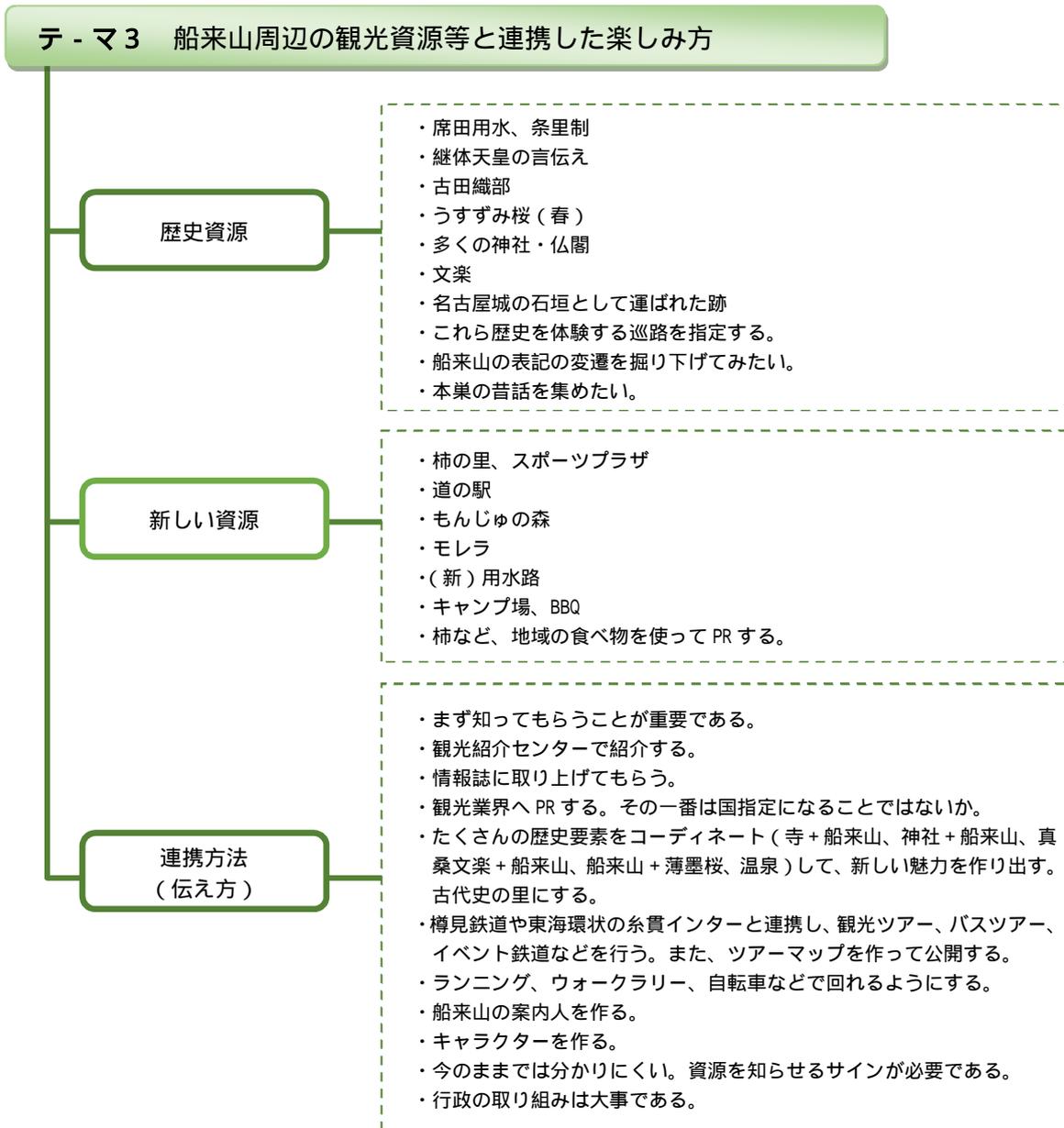
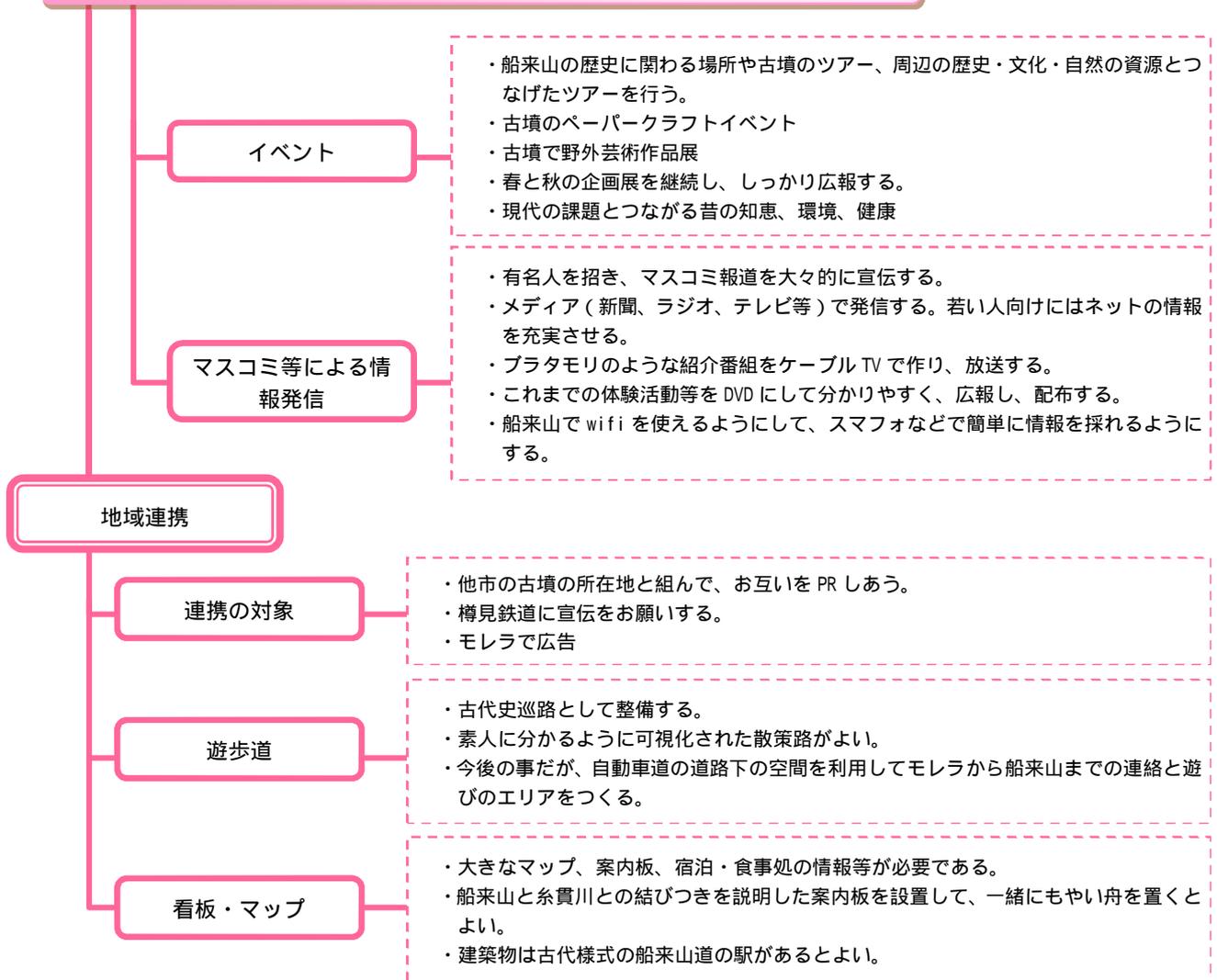


図 5-6 第 2 回ワークショップにおける主な意見(3)

テ - マ4 船来山のPR方法



前提条件：(地域での準備)

インフラ

- ・人を集めるためには、駐車場等のインフラを整備する必要がある。
- ・船来山までのアクセスを改善する必要がある。

地域の意識

- ・各学校の行事として、船来山を見学するなど、本巢市内の小中学生へもっとPRしないとけない。
- ・地元の理解を高める必要がある。
- ・柿のお菓子など、地元産業の活性化につなげる。

調査・戦略

- ・船来山の資源や古墳の分析・分類調査をより一層進める。
- ・国指定史跡としての指定を実現するためには、戦略的に進める必要がある。

図5-7 第2回ワークショップにおける主な意見(4)

第3回ワークショップ

第3回ワークショップは、第2回ワークショップの振り返りを行った後、岐阜農林高等学校の生徒による植物調査の結果発表が行われ、調査した3箇所の樹林の違いや特徴について説明を受けた。

その後、赤彩古墳のある古墳群エリアへ移動し、古墳を覆う草刈り体験や刈り取られたクズのツルでリースの土台作り、赤彩古墳の見学を行った。



岐阜農林高等学校の生徒による植物調査の結果発表の様子



古墳周辺の草刈り体験の様子

成果報告会

3月6日(日)に実施された成果報告会では、第1回～第3回のワークショップの内容を振り返り、その結果得られたこれからの船来山古墳群をめぐる課題が参加者に報告された。

表5-4は、成果報告会での参加者へのアンケート結果であるが、ワークショップに参加したことで、船来山古墳群への理解が深まっていることが分かる。また、こうしたワークショップに、より多くの市民が参加する機会があると良いと思うか？について、100%が賛同している。

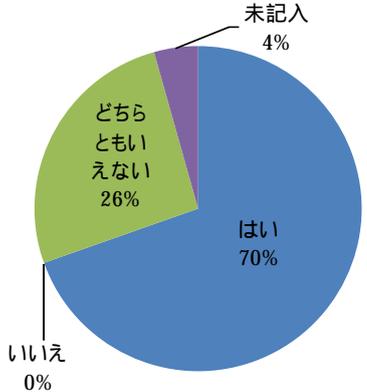
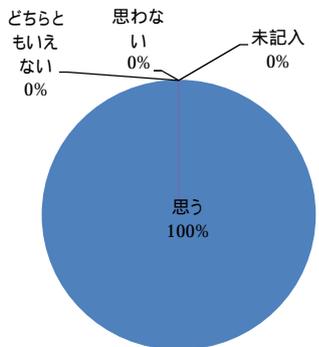
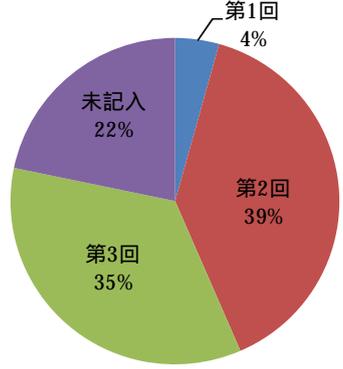
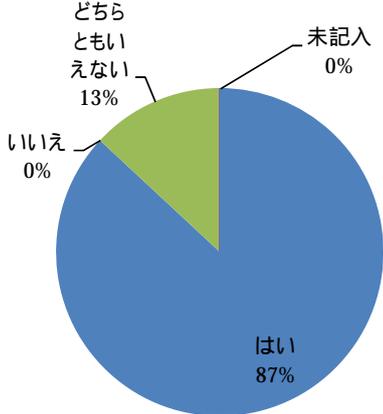
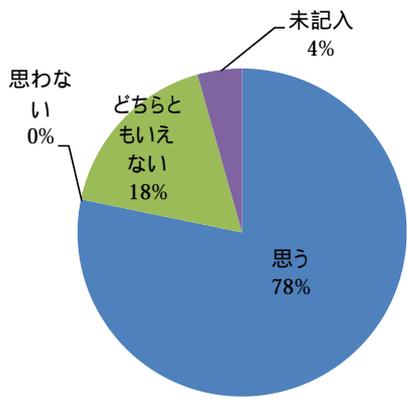
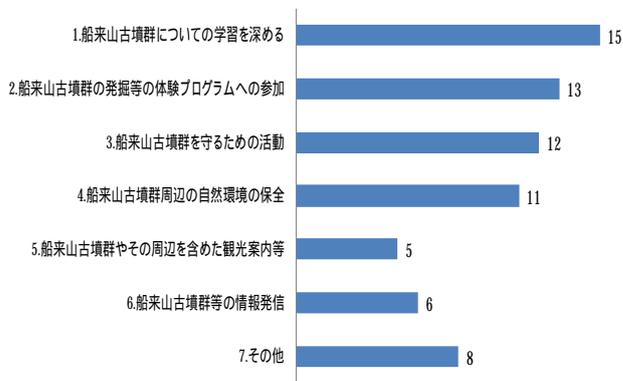
参加者は、今後も船来山古墳群の情報に触れたいと望み、学習を深めたい、体験プログラムに参加したい、古墳群を守るための活動、自然環境保全の活動に参加したいと考えている様子が見える。

ワークショップで様々な市民の意見を得ることができただけでなく、参加による船来山古墳群への関心度の高まりという効果も得られた。



成果報告会の様子

表 5-4 成果報告会での参加者アンケート結果

平成 27 年度ふるさと学習ロマンプロジェクト 船来山古墳群ワークショップ（船来山カフェ）に参加しての感想アンケートの結果																											
<p>1. ワークショップに参加して、船来山古墳群についての理解は深まりましたか？</p>  <table border="1"> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>はい</td><td>70%</td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td>26%</td></tr> <tr><td>未記入</td><td>4%</td></tr> <tr><td>いいえ</td><td>0%</td></tr> </table>	回答	割合	はい	70%	どちらともいえない	26%	未記入	4%	いいえ	0%	<p>4. このようなワークショップに、より多くの市民が参加する機会があった方が良いと思えますか？</p>  <table border="1"> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>思う</td><td>100%</td></tr> <tr><td>未記入</td><td>0%</td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td>0%</td></tr> <tr><td>思わない</td><td>0%</td></tr> </table>	回答	割合	思う	100%	未記入	0%	どちらともいえない	0%	思わない	0%						
回答	割合																										
はい	70%																										
どちらともいえない	26%																										
未記入	4%																										
いいえ	0%																										
回答	割合																										
思う	100%																										
未記入	0%																										
どちらともいえない	0%																										
思わない	0%																										
<p>2. 3回のワークショップのうち、もっとも印象に残った回、楽しかった回はどの回ですか？</p>  <table border="1"> <tr><th>回数</th><th>割合</th></tr> <tr><td>第1回</td><td>4%</td></tr> <tr><td>第2回</td><td>39%</td></tr> <tr><td>第3回</td><td>35%</td></tr> <tr><td>未記入</td><td>22%</td></tr> </table>	回数	割合	第1回	4%	第2回	39%	第3回	35%	未記入	22%	<p>5. 今後も船来山古墳群の新しい情報にふれる機会があれば参加してみたいと思いますか？</p>  <table border="1"> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>はい</td><td>87%</td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td>13%</td></tr> <tr><td>未記入</td><td>0%</td></tr> <tr><td>いいえ</td><td>0%</td></tr> </table>	回答	割合	はい	87%	どちらともいえない	13%	未記入	0%	いいえ	0%						
回数	割合																										
第1回	4%																										
第2回	39%																										
第3回	35%																										
未記入	22%																										
回答	割合																										
はい	87%																										
どちらともいえない	13%																										
未記入	0%																										
いいえ	0%																										
<p>3. 今回のワークショップに参加して、良かったと思えますか？</p>  <table border="1"> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>思う</td><td>78%</td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td>18%</td></tr> <tr><td>未記入</td><td>4%</td></tr> <tr><td>思わない</td><td>0%</td></tr> </table>	回答	割合	思う	78%	どちらともいえない	18%	未記入	4%	思わない	0%	<p>6. 今後船来山古墳群の保全と活用に向けて、個人的にやってみたいことは何ですか？</p>  <table border="1"> <tr><th>活動内容</th><th>人数</th></tr> <tr><td>1. 船来山古墳群についての学習を深める</td><td>15</td></tr> <tr><td>2. 船来山古墳群の発掘等の体験プログラムへの参加</td><td>13</td></tr> <tr><td>3. 船来山古墳群を守るための活動</td><td>12</td></tr> <tr><td>4. 船来山古墳群周辺の自然環境の保全</td><td>11</td></tr> <tr><td>5. 船来山古墳群やその周辺を含めた観光案内等</td><td>5</td></tr> <tr><td>6. 船来山古墳群等の情報発信</td><td>6</td></tr> <tr><td>7. その他</td><td>8</td></tr> </table>	活動内容	人数	1. 船来山古墳群についての学習を深める	15	2. 船来山古墳群の発掘等の体験プログラムへの参加	13	3. 船来山古墳群を守るための活動	12	4. 船来山古墳群周辺の自然環境の保全	11	5. 船来山古墳群やその周辺を含めた観光案内等	5	6. 船来山古墳群等の情報発信	6	7. その他	8
回答	割合																										
思う	78%																										
どちらともいえない	18%																										
未記入	4%																										
思わない	0%																										
活動内容	人数																										
1. 船来山古墳群についての学習を深める	15																										
2. 船来山古墳群の発掘等の体験プログラムへの参加	13																										
3. 船来山古墳群を守るための活動	12																										
4. 船来山古墳群周辺の自然環境の保全	11																										
5. 船来山古墳群やその周辺を含めた観光案内等	5																										
6. 船来山古墳群等の情報発信	6																										
7. その他	8																										

2. 課題

(1) 船来山の魅力や価値の保存・活用に向けた課題

未発見・未調査の古墳の継続的な調査・研究による船来山古墳群のさらなる実態解明

船来山にはまだ発見されていない古墳や調査されていない古墳も多く、発掘調査や分析等研究の継続により、実態を解明し、さらなる明確な価値付けを行うことが必要である。

船来山古墳群の価値や魅力を学べる機会の継続と充実

現在、船来山古墳群については、ふるさと学習ロマンプロジェクトや語りべボランティアの活動等、行政やボランティアによる船来山の歴史を学ぶイベントや展示等によって学ぶことができる。

しかし船来山古墳群の価値や魅力について、近隣住民をはじめ、市民にあまり認識されていないのが現状であり、今後も、分かりやすく、興味をそそる体験や学習機会を継続して提供し、さらに充実していくことが求められる。現地で古墳(石室など)を見て体感することが重要な要素であり、そのための環境整備が必要である。

船来山の自然環境や眺望を有効活用できるような環境整備が必要

船来山は平野部では樹林を伴う貴重な緑で、自然環境や景観上、重要な位置づけにある。現状においても、アベマキやコナラ等の里山的な樹林や地域の特性をあらわすコジイ林等の樹林環境、尾根部から見渡せる眺望など、ポテンシャルの高い資源の要素を持つ。

しかし現状のままでは薄暗い林内や繁茂する草などで見通しが悪い状況があり、自由に歩ける歩道、眺望が楽しめる場所も一部に限られている。身近に訪れ、保存や活用のための活動が心地よく行えるような環境整備が求められる。

古墳や自然環境を壊さないよう保全と活用のバランスを考慮

発掘された古墳の中には、むき出しの状態のまま風化・劣化の進むものもあり、早期の保全対策が必要である。また樹木の伐採等を伴う発掘調査や測量調査、活用のための環境整備等において、里山としての自然環境や景観的な価値にも考慮することが必要である。

(2) 船来山古墳群と周辺資源との役割分担や連携可能性についての課題

広域観光による地域活性化を視野に入れた市内外関連資源との連携

船来山を特徴づける歴史的な背景をみると、市内外の古墳群やその他歴史・文化資源と強く関連していることが分かるが、現状では相互の関連や物理的なアクセスの面で十分とは言えない。歴史的な関連性等、理解を深める工夫や利用しやすいアクセス環境の整備が求められる。

既存施設の活用、関連施設との統合・整備による機能集約と強化

既存の関連施設として市内に分散している3箇所の民俗資料館は十分にその機能が活かされていない状況にある。これらの収蔵物や機能を「古墳と柿の館」や「赤彩古墳の館」と集約することにより、本巢市の歴史・文化・民俗が学習できる拠点としての機能が強化され、市民が利用しやすい施設になるとともに、管理・運営の効率化が図れることが期待できる。

(3) 事業推進上の課題

史跡指定に向けた発掘等調査継続のための地権者の理解・協力

船来山は多くを私有地が占めているが、史跡指定への動きがある中で、さらなる実態解明の調査のために、地権者の理解・協力は不可欠である。

行政内各部署との連携、役割分担

船来山は、都市計画や景観計画等のまちづくりや学校教育、生涯学習、自然環境保全等、多様な分野が関わり、地域の活性化や地域を知る教材等としての活用への期待が大きい。船来山古墳群や周辺資源と連携した保存・活用に向けては、これらの行政内各部署との役割分担の明確化と相互の連携により、効率的・効果的な事業推進を図ることが必要である。

古墳や船来山の維持管理、保全・活用の様々な活動を運営するための人材の確保・育成

船来山をより良い状態で次世代へ継承するため、これまで関わってきたボランティアグループや研究者をはじめ、地域住民や児童生徒・学生等を含めた多様な人材が関われるような管理・運営体制をつくり、次世代に向けた人材育成等、長く継続できる活動を推進することが重要である。

持続可能な管理・運営のための財源の確保

管理・運営のためには一定の財源確保が課題となるが、各種補助金や基金等の活用のほか、産業を活かした地域ブランド商品の開発といった自ら収益を生み出す取り組みをする等、安定した管理・運営を目指すことが望ましい。